

教科	数学	学科	普通科	学年	2	年	
科目	数学Ⅱ			単位数	4	単位	
使用教科書	数学Ⅱ Standard(東京書籍)			副教材	STAGE 数学Ⅱ +B		

学校教育目標	高い志を立て、自己を練磨し、社会に貢献する人間の育成(立志・練磨)									
育成を目指す 資質・能力	基盤的学力	◎	協働力	○	論理的思考力	◎	傾聴力		課題解決能力	◎
	表現力	○	判断力	○	考察力	○	情報活用能力		コミュニケーション能力	○
	基礎的読解力	○	創造力	○	洞察力		継続力	◎	行動力	
	自己管理能力		共感力		自己実現力		復元力(折れない心)	○	自己肯定感	○
学習の到達目標	①方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数および微分と積分について理解を深め、事象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②方程式・式と証明，図形と方程式，三角関数，指数関数・対数関数および微分と積分の学習内容を事象の考察に活かし、解決の過程や結果を振り返ることで論理的思考力・考察力・判断力・表現力を身につける。 ③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。									

★評価規準	A:十分満足できる	B:概ね満足できる(基準)	C:努力を要する
★単元ごとの評価規準	★4月～6月下旬までの学習内容		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
・多項式の展開及び因数分解、除算ができる。 ・複素数の計算ができる。 ・2次方程式の解と係数の関係を理解することができる。 ・恒等式や不等式の証明をすることができる。	・二項定理を用いて、多項式の展開を効率よく行ったり、求めたい項の係数を算出することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、高次方程式を問題解決に活用することができる。	・多項式や複素数、因数定理を用いて、考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	
★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか	
・定期考査 ・小テスト・課題への取り組み	・定期考査 ・数学的パフォーマンス評価 ・課題への取組	・授業への取り組み ・課題の提出状況など ・数学的パフォーマンス評価	

【学習計画】

月	単元	学習の目標(評価の観点・評価方法)
4	オリエンテーション 1章 方程式・式と証明 1節 多項式・分数式の計算 1. 多項式の乗法と因数分解、二項定理 2. 多項式の除法	多項式の展開および因数分解を行うことができるようになる。 二項定理を用いて、式の展開や一般項の係数を求めることができるようになる。 多項式の除法を筆算を用いて行うことができるようになる。 分数式の加法・減法・除法を計算することができるようになる。
5	2節 2次方程式 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係	複素数の定義を理解し、四則計算ができるようになる。 複素数の範囲で2次方程式を解くことができるようになる。 解と係数の関係を理解できるようになる。 複素数の範囲で2次式の因数分解ができるようになる。
6	前期中間考査および考査の振り返り 3節 高次方程式 1. 因数定理と簡単な高次方程式 4節 式と証明 1. 恒等式 2. 不等式の証明	定期考査を活用し、自らの学習を振り返る。 因数定理を用いて、高次方程式の解を求めることができるようになる。 恒等式の定義を理解し、等式の証明ができるようになる。 不等式の性質や相加平均・相乗平均を用いて、不等式の証明ができるようになる。

★単元ごとの評価規準		図形と方程式、三角関数		★7月上旬～9月下旬までの学習内容						自己評価		実際評価	
①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度									
・直線の方程式や円の方程式の特徴について理解し、円と直線の交点の座標や共有点の個数を求めることができる。 ・三角関数のグラフの特徴を理解し、方程式や不等式を解くことができる。		・直線や円の方程式、三角関数について、コンピュータなどを活用して多面的に考察することができる。 ・日常や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決することができる。		・図形と方程式、三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。						観点		観点	
										① ② ③		① ② ③	
★何で評価するか		★何で評価するか		★何で評価するか									
・定期考査 ・小テスト・課題への取り組み		・定期考査 ・数学的パフォーマンス評価 ・日常的パフォーマンス評価 ・課題への取組		・授業への取り組み ・数学的パフォーマンス評価 ・日常的パフォーマンス評価 ・課題の提出状況など									
7	2章 図形と方程式		2点間の距離を求めることができるようになる。 内分と外分を理解し、内分点と外分点の座標を求めることができるようになる。 与えられた条件から、直線の方程式を求めることができるようになる。 公式の成り立ちを理解し、公式を用いて点と直線の距離を求めることができるようになる。 条件から円の方程式を求めることができるようになる。										
	1節 点と直線												
	1. 2点間の距離												
	2. 内分点・外分点												
	3. 直線の方程式												
	2節 円												
	1. 円の方程式												

8	2. 円と直線 前期期末考査および考査の振り返り 3節 軌跡と領域 1. 軌跡とその方程式 2. 不等式が表す領域	円と直線の共有点の座標や個数, 接線の方程式を求めることができるようになる。 定期考査を活用し、自らの学習を振り返る。 直線や円を描く軌跡の方程式を求めることができる。 不等式の示す領域を図示することができるようになる。
9	3章 三角関数 1節 三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数	角度を度数法, 弧度法の両方を用いて表すことができるようになる。 角を第4象限まで拡張して, $\sin, \cos, \tan$ の値を求めることができるようになる。

★何で評価するか	★何で評価するか	★何で評価するか
・定期考査 ・小テスト・課題への取り組み	・定期考査 ・数学的パフォーマンス評価 ・日常的パフォーマンス評価 ・課題への取組	・授業への取り組み ・数学的パフォーマンス評価 ・日常的パフォーマンス評価 ・課題の提出状況など

★最終評価総括(自己評価／実際評価)

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度

自己評価総括 実際評価総括

①	②	③	①	②	③